

エコモビにつながる 交通施策の展開

— 地域組織の取組とこれからの視点 —

2022年1月31日

特定非営利活動法人

「まちづくりの達人ネットワーク」理事長

「ITSプラットフォーム21」理事

伊豆原浩二

地域組織の取組

地域組織として

「豊田エコ交通をすすめる会」

30事業所（事務局含む）で構成

事務局：豊田市都市整備部交通政策課

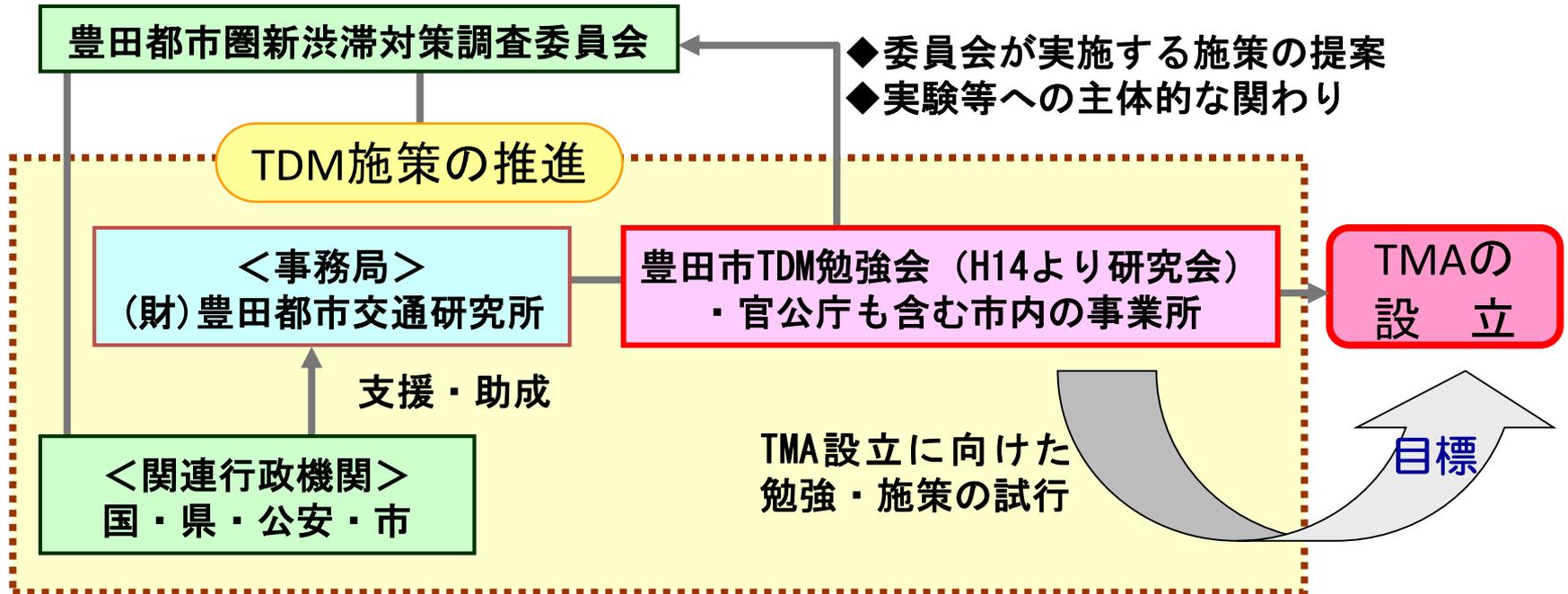
豊田商工会議所

（公財）豊田都市交通研究所

組織の経緯と取組

豊田市TDM勉強会(H8～)豊田市TDM研究会(H14～)

〔発足当時の枠組み〕



- ・ H7年度の社会実験(H7/11:都心部における通勤方法転換実験(約1,200名の参加、主要幹線道路の渋滞長を半減)に参加した43事業所で構成。
- ・ 将来的にはTMA (Transportation Management Association: 交通マネジメント協議会) の設立を目標。

取組の概要

H8年度	<ul style="list-style-type: none">・ TDM勉強会設立・ 豊田市の交通と渋滞に関する 市民アンケート調査の実施
H9～ 10年度	<ul style="list-style-type: none">・ 具体的な施策メニューの提案と絞り込み→「公共交通機関利用の日」を検討
H11年度	<ul style="list-style-type: none">・ 他都市の先進事例（金沢市）の紹介（金沢市の市民団体代表による講演）・ 都心部事業所での「TDMの日」試行（2月）
H12～ 13年度	<ul style="list-style-type: none">・ 「TDMの日」の継続的な実施、商店街との連携 （毎月第3水曜日にマイカー通勤を控えることを呼びかける）
H14年度	<ul style="list-style-type: none">・ TDM勉強会をTDM研究会に名称変更・ 「TDMの日」を「のりあいエコデー」として、毎月第1、第3水曜日に拡大。
H15年度	<ul style="list-style-type: none">・ 会員事業所の取り組み（通勤シャトルバスの運行；トヨタ自動車）・ 時差出勤の検討、「のりあいエコデー」の拡大検討
H16年度	<ul style="list-style-type: none">・ 中心市街地・トヨタ本社地区通勤者によるTDM社会実験 （約6,200人が参加し、11月18～22日の実験期間中マイカー通勤を控える。）
H17年度	<ul style="list-style-type: none">・ TDM社会実験「チャレンジECO通勤」 （愛知環状鉄道沿線4市においてWeb-TFP通勤交通MM実施。1,660名が参加。）
H18年度	<ul style="list-style-type: none">・ 「チャレンジECO通勤」取組みの継続（NEDO補助事業） （Webシステムの改良と一般開放。歩数計を配付し健康面での動機付け。事業所単位での参加を要請し、1,256名が登録）

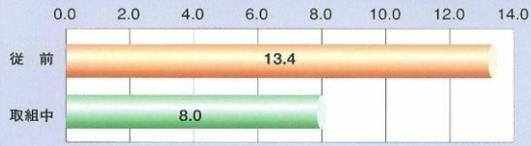
・ TDMの勉強と社会実験実施の調整協議の場として機能

出典：山崎他、豊田市におけるエコ通勤促進の取り組み－エコ通勤をすすめる会の設立－、第4回日本モビリティ・マネジメント会議、2009

●エネルギー消費・CO₂排出について40%の削減効果がありました

CO₂排出削減
40.6%

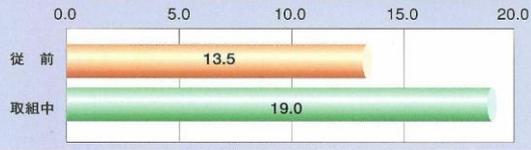
CO₂ 排出量 (t-CO₂)



実験中、参加者が朝の出動時に排出したCO₂は約8.0トン。もし通常どおりマイカー通勤をしていたら、約13.4トンのCO₂が排出されていたと考えられ、40.6%のCO₂排出を削減できたと言えます。

●渋滞が少なくなって燃費が向上しました

幹線道路の平均速度 (km/h)



国道248号岡崎市仁木町から豊田市トヨタ町までの4.9キロ区間は、通常朝の混雑時には通過に約22分かかります。これが実験中は約16分でした。区間の平均速度でみると、時速13.5キロから19.0キロに向上したことになります。その分燃費も向上したことになり、省エネ効果が現れました。

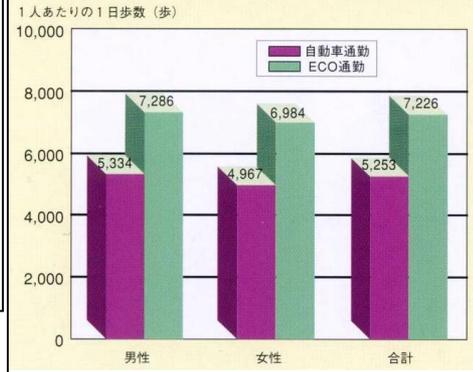
●愛知環状鉄道の利用客が増えました

愛知環状鉄道主要駅乗降客数 (人)

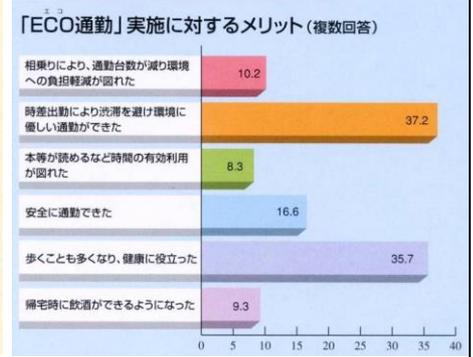


愛知環状鉄道の主要7駅では、通常朝の出動時には約1万1千人の乗降があります。実験時はこれが約1万4千人となり、3千人近い乗降客数増加がみられました。(乗降客数合計ですので、1人の人が乗って降りると「2人」とカウントされます。)

1日の1人あたり男女別平均歩数の増加



アンケートの結果から



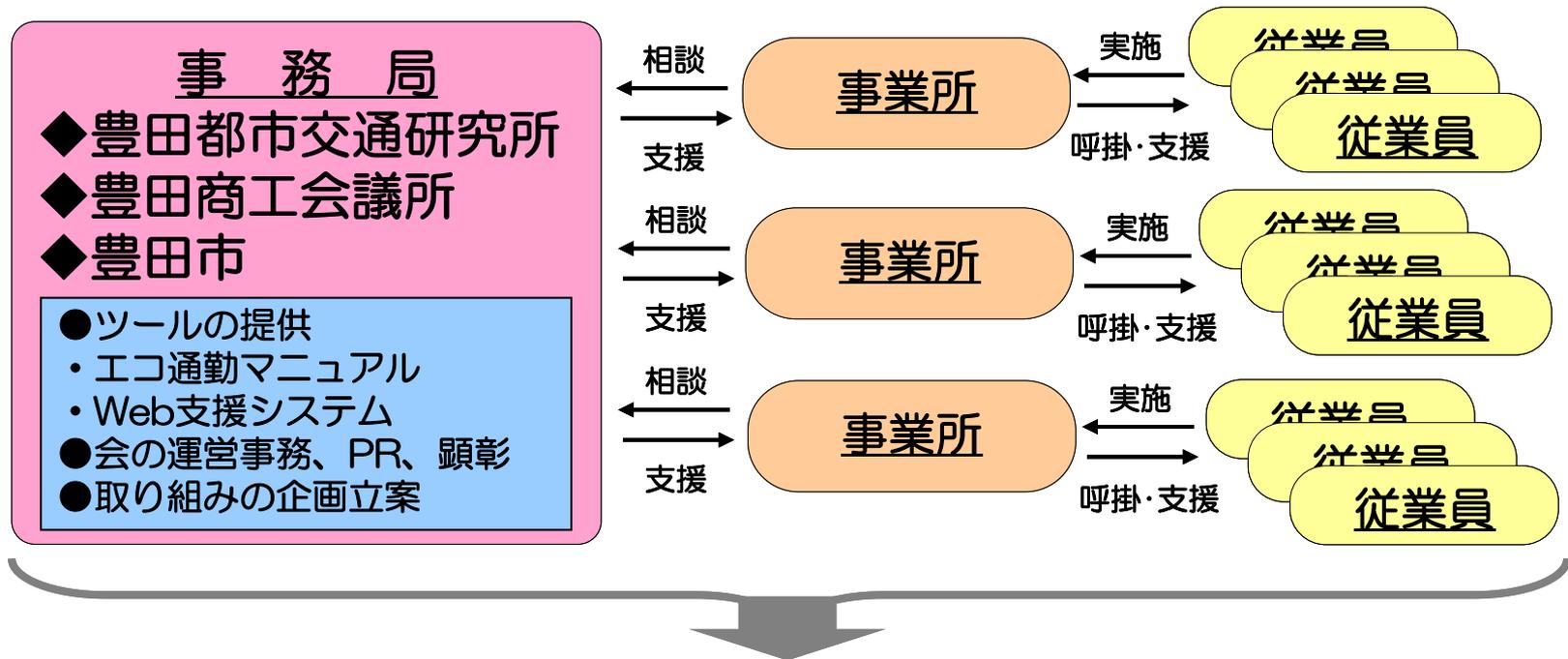
H17年度「チャレンジECO通勤」

H18年度「チャレンジECO通勤」



出典;山崎他、豊田市におけるエコ通勤促進の取り組みーエコ通勤をすすめる会の設立ー、第4回日本モビリティ・マネジメント会議、2009

豊田エコ通勤をすすめる会(H20～)



事業所主体の取り組みとして、エコ通勤の普及を推進

- ・ 「TDM研究会」は社会実験等で成果を上げたが・・・
- ・ 効果を持続するためには事業所自らの行動変容が必要（固有の通勤規則、立地条件に応じたメニュー）
- ・ 先行して取り組む事業所が牽引役に、少数精鋭で！
- ・ H20年12月に、21事業所で立ち上げ

【目的】 産官の共働によりエコ通勤を推進し、豊田市内の道路交通混雑の緩和や公共交通の利用促進、環境負荷の軽減を図ることを目的とする。(各事業所が主体的・自主的に取り組む)

【会 長】 名古屋産業大学教授 伊豆原浩二

【副会長】 豊田商工会議所常務理事 永田勇夫

【事務局】 豊田市交通政策課, 豊田商工会議所, (公財)豊田都市交通研究所

【参加条件】

1. 事業所の参加登録シートの提出。(意思の確認)
2. 原則として、豊田市内の事業所を対象。
3. 具体的な通勤問題(駐車場不足、交通渋滞等)を抱え、対策を実施、または実施したいと考えている。
4. 事業所として、通勤問題の解決に向けた意欲がある。
5. 3ヶ月に1回程度開催の会議へのご出席が可能。
6. 自社の取り組みを会議で公表できる。

推進体制

【 行政主導ではなく 「共働」 】

- 事業所に「当事者意識」を醸成する
→ 事業所が主体的に対策を検討。
- まずは事業所内での推進体制を整えるために
→ トップダウンが推進を加速する。
→ 商工会議所の声は企業トップに届きやすい。

【 専門組織の参画 】

- 最新情報の収集、推進のノウハウ、調査・分析、
学会等への情報発信・情報収集
→ TTRI にとって「実践的研究の場」
→ コンサルタント、NPOの活用

取組の概要

H20年度	• 豊田エコ通勤をすすめる会（会員事業所21社）
H21年度	• 豊田エコ通勤をすすめる会（会員事業所21社）、グループ討議 • 「コンビデケッタ」（自転車の共同利用）
H22年度	• 豊田エコ通勤をすすめる会（会員事業所24社） • エコムートWebサイト立上げ（登録87名）、エコ通勤マガジン（vol.1,2） • 特別講演会（東京医科大、ヤマハ） • 「駅から自転車」（最寄り駅から事業所まで自転車通勤）
H23年度	• 豊田エコ通勤をすすめる会（会員事業所26社） • エコムート（登録205名）、エコ通勤マガジン（vol.3,4） • エコ通勤講座（7社）、特別講演会（豊橋市）
H24年度	• 豊田エコ通勤をすすめる会（会員事業所27社） • エコムート（登録234名）、エコ通勤マガジン（vol.5,6） • 特別講演会（大口町、リコモねっと）

自転車共同利用

<出勤時のイメージ>

Aさんは7:15頃の電車に乗り
通勤先の駅へ向かう、Bさんは
この駅へ7:30頃に到着

<帰宅時のイメージ>

Bさんは18:45頃の電車に乗り
自宅の最寄駅へ向かう、Aさん
はこの駅へ19:00頃に到着

出勤時
の逆

H21年度「コンビデケッタ」の
実施イメージ

※ H21年度は「あいちエ
コモビリティライフ促
進モデル事業」として、
H22年度は「公共交通
利用促進モデル事業」
として実験を実施。

	夜	朝	昼	夜
自宅と駅	Aさん 自宅から駅へ →			駅から自宅へ Aさん
駅と会社		駅から会社へ →	Bさん 会社から駅へ →	

- 鉄道駅端末交通としてシェアリング
H21年度「コンビデケッタ」：駅へのアクセス・イグレス手段として共同利用（個人利用）
- 事業所が主体となって自転車を活用
H22年度「駅から自転車」：業務利用も含め、事業所で自転車を管理しながら共同利用する仕組みの検証

PR活動「エコミュート(ecommute)」

- 目的

- 取組みの見える化(PR)→エコ通勤を多くの人に広める。
- 通勤者個人の「遊び心」に訴えながら、エコ通勤に対する意識を高める。

- 実施内容

- ポスター、チラシ、クリアフォルダの作成と配布
- 小冊子の刊行
- 飲食店協賛企画(タンブラーのプレゼント)
- ラジオCMと時報によるPR
- Webサイトの設置と ecommute 会員の募集



豊田エコ交通をすすめる会(H25～)

取組の概要

H25年度	<ul style="list-style-type: none">豊田エコ通勤をすすめる会を豊田エコ交通をすすめる会に名称変更 (会員事業所34社、通勤だけでなく一般市民へもエコ交通を普及)エコ交通月間(11/11～12/12) (エコ交通参加者788人、事業所569人、一般市民219人) CO2低減6.8トン (会員事業所33社)
H26年度	<ul style="list-style-type: none">エコ交通月間(9/16～10/13) (エコ交通参加者3,031人、事業所2,692人、一般市民339人) CO2低減14.8トン (会員事業所32社)
H27年度	<ul style="list-style-type: none">エコ交通月間(12/1～12/31) (エコ交通参加者2,128人、事業所1,658人、一般市民470人) CO2低減16.9トン豊田エコ交通出前教室(小学校3校)
H28年度	<ul style="list-style-type: none">(会員事業所32社)豊田エコ交通優秀活動表彰(金賞、銀賞、銅賞、敢闘賞)MM実践WG(参加事業所3社)、普及啓発WG(参加事業所6社)豊田エコ交通出前教室(小学校8校、高齢者クラブ2団体)
H29年度	<ul style="list-style-type: none">(会員事業所32社)MM実践WG(参加事業所6社)エコ交通メールニュース(5回発信〔号外除く〕)
H30年度	<ul style="list-style-type: none">(会員事業所30社)MM実践WG(参加事業所5社)エコ交通メールニュース(4回発信)豊田エコ交通出前教室(小学校5校)
R元年度	<ul style="list-style-type: none">(会員事業所30社)MM実践WG(参加事業所5社、うち2社がエコ交通の取組みを実践)エコ交通メールニュース(4回発信)豊田エコ交通出前教室(小学校5校、地域支援センター1箇所)
R2年度	<ul style="list-style-type: none">(会員事業所30社)エコ交通啓発ツールのコンテンツ整理 (「転入者向け」「新高校生向け」「高齢者向け」⇒ R3年度に制作中)エコ交通メールニュース(4回発信) <p>※MM実践WGおよび豊田エコ交通出前教室はコロナ禍の影響により開催していない</p>

エコ交通月間のPR活動と参加者募集



名鉄「豊田市駅」改札口(左側掲示板)



愛環の全車両の中央入り口

◆横断幕

- ①名鉄「豊田市駅」西側ペデストリアンデッキ CITY PLAZAへの階段の階口
- ②名鉄「豊田市駅」東側 参号館への空中通路の西側エント



◆交通安全フェア 8月30日(土)、31日(日)@松坂屋



◆トラックフェア

10月5日(日)@豊田スタジアム

◆とよた産業フェスタ

9月27日(土)@豊田スタジアム



参加者大募集!どなたでも参加できます
7/〇〇より登録受付開始!

1人でもOK
今回はグループで参加!

豊田エコ交通月間

2014.9/10~9/30

エコ交通に取り組み、豪華プレゼントが当たる!!

自転車や商品券など豪華賞品が当たる!
※抽選で1000名様に当たる

ゆっくり運転で エコで安全なスローライフ

エコ交通とは
通勤だけでなく買い物・送迎・ドライブでも、人々が主体的により望ましい交通のあり方を考える取り組みで、環境に配慮したライフスタイルの定着化を目指しています。

エコ交通でこんないいことが

- 1 交通渋滞が少なくなります
- 2 環境負荷が
- 3 適度な運動で健康に
- 4 交通事故が

参加方法 参加登録方法は裏面をご覧ください

皆様のご参加、お待ちしております! グループでの

参加内容 エコ交通取組事例

交通手段をマイカーから変えてみましょう
マイカーから公共交通機関や徒歩・自転車に変えてエコ交通を取り組む。

車を上手に利用してみましょう
マイカーを利用する機会でも、エコドライブと気をつけてエコ交通を取り組む。

参加方法

- 1 まずは事前に登録(下記用紙)をお願いします。
- 2 期間中(9/10~9/30)エコ交通の取組みをお願いします。
- 3 実績報告(紙またはインターネット)をお願いします。
- 4 参加者の中から抽選で豪華賞品が当たります。

応募用紙

下の登録用紙をご記入の上、郵送またはFAXで下記宛先までお送りください。
また、同内容を下記メールアドレスから送っていただいても参加できます。

氏名 (ふりがなを併記)	性別	年齢
住所		
電話番号	所属機関 職・インターネット	所属グループ(人)・個人

申込の受付先 0565-31-9888 ecommute@trri.or.jp
FAXの受付先 0565-31-9888 ecommute@trri.or.jp

※申し込みページから発行していただきます。 http://ecommute-toyota.jp/

とよた3Sドライブ 9/20(土)はバスの日
ゆっくり発進、加速速の少ない運転を心がけよう。 SLOW-SMART-STOP
バスで移動してみよう。

※詳細情報はこちらを参照下さい。 http://ecommute-toyota.jp/

「豊田エコ交通月間」は、豊田が推進する「環境モデル都市」プロジェクトの一環として実施する取組です。
「豊田エコ交通をすすめる会」が実施しています。(事務局:豊田県環境交通研究所 豊田県庁4号館401号室)
豊田市内の乗用車で「豊田エコ交通をすすめる会」が実施しています。(事務局:豊田県環境交通研究所 豊田県庁4号館401号室)
※主催:豊田県環境交通研究所 豊田県庁4号館401号室 TEL:0565-31-7543

協賛会社と商品

抽選会は11月28日に実施。現在案内・一部郵送中。



■ご協力有難うございました

1名様



折りたたみ式自転車 (20インチ)
商品種類が変更になる場合がございます
提供元: (株)サギサカ

1名様



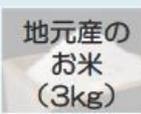
クロスバイク(700C)
商品種類が変更になる場合がございます
提供元: (株)サギサカ

5名様



T-FACE商品券 (5,000円)
提供元: 豊田まちづくり(株)

20名様



地元産のお米 (3kg)
提供元: あいち豊田農業協同組合

40名様



トヨタプリウスα LEDライトストラップミニカー
提供元: トヨタ自動車(株)

3名様



ビール券 (約2000円相当)
提供元: 株小野組

A:3名様
B:30名様



ホテルベスイン豊田
A:「シングルルームー泊朝食付き宿泊券」
B:「ホテル館内御利用割引券(1000円)」
提供元: ホテルベスイン豊田

ご注意点: この宿泊券・割引券は、ご返金、ご換金、ご予約はできません。またホテル館内利用割引券は、宿泊なしでの館内利用はできませんのでご了承ください。

30名様



Pentelボールペン
提供元: 豊田鉄工株

2名様



エコハイブリッドバス (名鉄バス)の模型
提供元: 名鉄バス(株)

50名様

愛環 ネクタイピン
提供元: 愛知環状鉄道株

5名様

Quoカード(1000円)
提供元: 豊田共栄サービス株

5名様

商品券(1000円)
提供元: 株協豊製作所

- ◆豊田市で開催されるイベントでの応募プレゼントは以下。
・豊田市交通安全フェア(8/30・31松坂屋)、
・とよた産業フェスタ(9/27豊田スタジアム)

先着 50名様

お子様用 「お絵書き帳」
提供元: トヨタ生活協同組合

豊田エコ交通優秀活動表彰

金賞：株式会社小野組

エコ通勤手当小野組規約 オノポイントを集めよう

小野組ではエコ通勤(自転車・徒歩・公共交通機関・相乗り等)を行った社員に対しオノポイントを付与し、奨励金として4月に行われる仕事始め式に給付致します。

奨励金の額面及び算出の仕方

※エコ通勤1回に対し1オノポイント(50円)とする。
全出勤(22日)に対しエコ通勤したとすると・・
(1ヵ月¥1,100となり、課税対象にはならない。)

※本社・事業所より10kmに所在する社員には
エコ通勤1回に対し2オノポイントとする。
全出勤(22日)に対しエコ通勤したとすると・・
(1ヵ月¥2,200となり、課税対象にはならない。)

※本社・事業所と同じ町内に所在する社員は
エコ通勤1回に対し0.5オノポイントとする。

注①：通勤手当は従来と変わらず支給
注②：下記の金額以上は所得税の対象
2Km～10Km＝¥4,100/月
10Km～15Km＝¥6,500/月

通勤管理の方法

エコ通勤の申告は自己申告制とする。各事業所にグラフを設置し、社員全体で申告の正確さを管理し、定期的にグラフを回収し総務課で集計したポイントを換算して、仕事始め式に奨励金を給付する。



社内会議にて展開



総務部・監督室・作業員休憩所に掲示し、
エコ通勤日をいつでも記入出来るようになっています



社員28名中エコ通勤奨励者 (エコ通勤実施1回以上) 9名

NOGUMI ECO通勤

エコ通勤実施のメリット

地域にとって
・周辺地域の通勤時間帯の渋滞緩和が期待できます
・公共交通機関の利用数が増え公共交通サービス水準の向上等に期待できます
・地球温暖化防止に寄与します

事業所にとって

・企業イメージの向上が図れます(環境配慮行動としてISO14001、CSRへ位置づけ)
・マイカー通勤者以外の駐車場の確保の削減、社庫等の有効利用につながります
・従業員の健康増進、通勤時の事故減少、定時出勤等に寄与します

従業員にとって

・公共交通や自転車、徒歩での通勤は、健康増進にも役立ちます
・通勤に費用が掛からず通勤が楽です
・交通事故に陥る確率が低減し安全に通勤できます

小野組エコ通勤へのモットー

「出来る事から」やれる範囲で「努力しよう」



小野組の現在の取り組み

相乗り・乗車通勤
・定期的に通勤路が変化する者同士向あての通勤

区画線の削減
・駐車スペースを削減しピコップを建設し、環境への配慮を図る



今後の目標

・徒歩通勤者・自転車通勤者・相乗り通勤者の増進
・ノーカーデーの実施

参考に見て下さい

エコ通勤ホームページ
<http://www.nkg.gr.jp/nogumieco/transport/ecommuting/>

出典：豊田エコ交通をすすめる会
会員事業所エコ交通取り組み事例

銀賞：ホテルパレスイン豊田

事業所名 ホテルパレスイン豊田
 幹事名 深見陽一 幹事電話番号 0565-32-0011

エコ交通月間への参加を周知徹底ポスター掲示、チラシは全員に配布し、周知徹底しました。

・一括登録シートを活用し、出勤カード打刻時に同時に登録シートへの記入を促す。

・小規模事業所の為、各主任を通じ一括管理徹底

・従業員本人の手間はとにかく減らすため、シート記入以外の報告業務は、全て管理職で行い、過大なストレスを排除した。

・エコ交通への交通手段転換を図るため、公共交通の場合の交通費は全額支給、自動車の場合は一部支給と、交通費の差別化を図っております。

注意事項: 英数字はすべて半角にて入力
 ログインID: 先頭に会員事業所名
 パスワード: 123456

エココミュニティへの会員登録済の場合
 ○ (氏名・事業所名のみ記入)

氏名 (システム上は必須ではありません)	ログインID (先頭に会社名の略称を半角英数字にて追記願います)	パスワード (半角英数字で6文字以上。)
豊田太郎	33taro1234	記入不要
豊田エコ部	33ecoo5678	記入不要
深見陽一	41pala0001	123456
近田昌宏	41pala0002	123456
楠田幸枝	41pala0003	123456
岩城 諭	41pala0004	123456
宇井かおり	41pala0005	123456
妻田真代	41pala0006	123456
西川ゆき	41pala0007	123456
清水優美子	41pala0008	123456
湯浅 愛	41pala0009	123456
村松久子	41pala0010	123456
島海伸子	41pala0011	123456
鈴木勝博	41pala0012	123456
谷口龍子	41pala0013	123456
釈迦堂和子	41pala0014	123456
小杉サルマ	41pala0015	123456
近藤秋子	41pala0016	123456
幸地由里子	41pala0017	123456
川村みね子	41pala0018	123456
田口香織	41pala0019	123456
中田千景	41pala0020	123456
相原健子	41pala0021	123456
矢野美知子	41pala0022	123456
樋江井ハル子	41pala0023	123456
中村正江	41pala0024	123456
龍崎秀雄	41pala0025	123456

出典: 豊田エコ交通をすすめる会
 会員事業所エコ交通取り組み事例

銅賞：豊栄交通（株）

バス・タクシーに乗務する乗務員に対し、プロドライバー=ロードリーダーとし、環境面へ配慮した運転を実施するよう全乗務員共通の3か条に「エコ交通」も含め設定しています。

安全運転=とよた3Sドライブと定義し、特に3にある横断歩行者に対する「歩行者優先」をゆとり運転とともに教育実施しています。

当社社員は職業柄「エコ通勤」への転換が難しい職種であるが、「エコ交通」とう考え方で、プライベートでの公共交通利用のきっかけ作りを実施し、可能であれば自転車等への通勤手段変更へもつなげています。

出典：豊田エコ交通をすすめる会
会員事業所エコ交通取り組み事例

ロードリーダー心得え3ヶ条 (プロドライバー)

私たちは公道を職場とする者として、次のことを基本とした運転に努めます。

1. 安全運転のペースメーカーとなります。
『 イエローストップ・スピード抑止・右左折確認励行 』
1. 模範となる運転マナーを率先して実施します。
『 思いやり・譲り合い・明るく爽やか・正しい運転姿勢 』
1. 環境や防犯を意識した運転を行ないます。
『 アイドリングストップ・エコ交通の実践・防犯パトロール 』

資料 0-2

とよた3Sドライブ

とよた3Sドライブとは・・・
ドライバーが歩行者を交通事故から守るために実践する運転行動です。交通事故を防止するための基本的な運転行動を表した。
「スロー（Slow）」「スマート（Smart）」「ストップ（Stop）」の3つのSをとって「とよた3Sドライブ」といいます。



ゆっくり発進、ゆっくり停止

発進時はゆっくりと、止まる時は早めにアクセルを離してブレーキに足を乗せておくことにより、とっさの事態に対応でき、事故を未然に防ぐことができます。
実際に、運送事業者11社1,310台を対象に「ゆっくり発進、ゆっくり停止」を徹底した結果、1年間の交通事故が半減したという事例があります。
〔出典：自動車技術会「エコドライブ活動による燃費向上と交通事故削減」H18年9月〕
また、ゆっくり停止（早めのアクセルオフ）は、燃費向上にも大効果があります。

2 余裕の車間距離で、加減速の少ない運転

前のクルマとの車間距離を十分に保つことは、加減速の回数を減らし、追突事故などの危険性が減り、加えて前方の視界も広くなることで、事故を回避しやすくなります。
車間距離の目安として、時速40kmの場合は、約2.2m以上の車間距離が必要です。

3 横断歩道で歩行者を見たら必ず「止まる」

子どもや高齢者などを横断歩道で見たら、必ず止まりましょう。また、5分早めに出発することで、歩行者に気配りでき、他のドライバーとの譲り合いができるなど、心と運転にゆとり（余裕）が生まれます。
ゆとりの心で、「クルマ優先」から「歩行者優先」の運転へ変えましょう。



「エコ交通」とは

交通手段の変更
通勤・買い物・レジャー

かしい自動車
利用の実践

時間帯をずらして
渋滞を避ける

公共交通機関や自転車・徒歩による移動はエコ社会の優等生です。地球温暖化の原因となるCO2排出量を見てみると、各交通機関の平均で人間1人を1km運ぶ時に排出する量は、自動車ではおよそ173gですが、バスならその1/3程度、鉄道では1/10程度、自転車・徒歩ならほとんど排出しません。
皆さんが、かしい省エネ手段を選択すれば、地球温暖化の原因となるCO2排出量を減らすことができます。

エコ通勤をたくても、公共交通機関の便が悪い方は自動車利用が主となります。それでも、エコカーの利用やエコドライブの実践、相乗り通勤など工夫次第ではエコ交通の実践が可能です。

渋滞に引っかかるとイライラするばかりでなく、燃料の消費も増えてしまいます。燃費向上のためにも、行動時間をずらして、交通量を分散させることで渋滞を軽減（解消）するなど、環境に優しい交通行動にチャレンジしてみましょう。

「エコ交通」促進でこんないいことが・・・

地域への貢献

従業員の安全
向上・健康増進

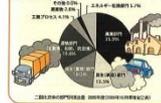
事業所の
イメージアップ

渋滞の軽減

自動車の過度な利用は、周辺地域の渋滞の原因となります。渋滞による損失時間を試算すると、愛知県で1人当たり年間39時間も時間を無駄にしていることとなります。

環境負荷の軽減

CO2排出量のうち運輸部門が20%占めており、その大半（89%）は自動車に占められています。地球温暖化対策にとって、クルマからの転換やエコドライブは非常に重要な課題といえます。



通勤時の事故回避

通勤時間帯に交通事故が多発しています。クルマ通勤からの転換は、事故の確率を低くし、職員の安全性を高めるメリットがあります。



健康増進

自動車利用と電車利用とで以下のように消費カロリーを試算すると、差は130 kcalとなり、ジョギング18分に相当します。



企業イメージの向上

CO2排出削減目標の義務づけや、企業の社会的責任（CSR）に対する世間の関心の高まりで、環境に対する企業姿勢は今後ますます注目されてきています。事業所が主体的に取り組むエコ交通は、具体的なCO2削減効果をもたらすと同時に、企業イメージの向上をもたらします。

駐車場経費の削減

自動車通勤が必要となる駐車場の経費はただではありませんが、増加する自動車通勤者のための駐車場の確保が困難な事業所も多くなると想定されます。通勤手段が転換されれば、駐車場の有効活用や資料の削減が可能となります。



小学生向け出前教室

平成28年度小学生向け出前教室まとめ

	開催日	学校名	学年	人数	説明回数	教育内容
1	H28.5.25	滝脇小学校	全学年	29名	1回 (全クラス)	地球温暖化、エコ交通、エコカー(パワーポイント) FCV試乗、PHV、EV見学 バスの乗り方(試乗)
2	H28.9.15	前山小学校	4年生	137名	2回 (4クラス)	燃料電池の仕組み(ポスター) 石灰水白濁実験 燃料電池バス(ミラノス)(試乗)
3	H28.12.1	古瀬間小学校	4年生	78名	1回 (2クラス)	地球温暖化、エコ交通、エコカー(パワーポイント):高専 FCV試乗、PHV、EV見学 バスの乗り方(試乗)
4	H28.12.2	浄水北小学校	1年生 特別支援	93名 21名	2回 (3クラス)	ちきゅうおんだんかごうつう(パワーポイント) バスの乗り方(試乗)
5	H28.12.5	根川小学校	1年生	102名	4回 (4クラス)	ちきゅうおんだんかごうつう(紙芝居) バスの乗り方(試乗)
6	H28.12.9	東保見小学校	1年生	104名	4回 (4クラス)	ちきゅうおんだんかごうつう(紙芝居) バスの乗り方(走行せず乗降体験)
7	H29.1.24	野見小学校	特別支援	10名	1回 (1クラス)	ちきゅうおんだんかごうつう(パワーポイント) バスの乗り方(走行せず乗降体験)
8	H29.2.10	市木小学校	1年生 2年生 特別支援	160名	4回 (6クラス)	ちきゅうおんだんかごうつう(紙芝居) バスの乗り方(走行せず乗降体験)



写真1. 滝脇小



写真2. 前山小



写真3. 古瀬間小



写真4. 浄水北小



写真5. 根川小



写真8. 市木小



写真6. 東保見小



写真7. 野見小

エコ交通メールニュースの例

エコ交通推進に必要な情報を共有するため、メールニュースを発行致します。

20170710号

(1) エコモビ実践キャンペーンの参加募集（あいちエコモビリティライフ推進協議会）

- ◆平成29年11月16日～12月15日のキャンペーンに参加してみませんか。
- ◆エコ交通月間と同じ活動です。下記(c-1)または(c-2)で参加登録できます。

(a) 愛知県ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/290629ecomobi.html>

(b) 参加募集チラシ

http://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/165795_289058_misc.pdf

(c-1) Web参加登録画面

<https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=9330&accessFrom=>

(c-2) 紙面参加登録書

http://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/165795_287663_misc.pdf

(2) 自転車利用促進への補助事業（環境省地球温暖化対策課）

- ◆駐輪場整備などに対して補助が出るので応募してみませんか。
- ◆今年5月19日までの募集でしたが、2次募集があります。
- ◆募集期間は未定ですが、添付のチラシ及び下記資料をご確認願います。

（説明会資料）：表題は公共交通～ですが、自転車利用も含まれています

http://lcspace.jp/wordpress/wp-content/uploads/2017/04/setsumeikai_20170502.pdf

(3) 第十二回日本モビリティマネジメント会議

- ◆平成29年7月28日～29日に福岡で開催されるので参加してみませんか。
- ◆豊田都市交通研究所、豊田高専がポスター発表します。

（日本モビリティマネジメント会議ホームページ）

<http://www.jcomm.or.jp/>

以上 ご担当の業務に参考になれば幸いです。

H29年度環境省新規補助事業



自転車利用環境の整備を通じた交通分野の低炭素化促進事業
（国土交通省連携事業）



目的・意義

基幹交通と目的地を結ぶ末端交通として自転車利用環境の整備を行い、区域内の移動の利便性を面的に向上させ、マイカー等に過度に依存する生活からの転換を促し、「社会全体の環境負荷低減」、「持続可能なまちづくり」につなげる。

補助対象

補助割合：1/2を上限に補助

①コミュニティサイクル[※]や駐輪場の整備 ※レンタサイクルを含みます

補助対象者：地方公共団体（駅前等の一般駐輪場の整備は除く）、民間事業者等

②自転車を活用したエコ通勤・業務利用

補助対象者：地方公共団体、民間事業者等

【補助対象設備の例】

設備	①コミュニティサイクルや駐輪場の整備	②自転車を活用したエコ通勤・業務利用
自転車	○（電動アシスト自転車含む<上限有り>）	
ラック	○（精算機能を有するもの）	○
精算機 登録機	○	×

など

問い合わせ先

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室

TEL03-5521-8355 FAX:03-3580-1382

【執行団体】 一般社団法人低炭素社会創出促進協会 国内事業部

TEL03-3502-0705 FAX:03-3502-0702

ホームページ：<http://lcspace.jp/>

MM実践WGの例

A社の社員配布チラシ

ちょっと体型が気になっているあなた・・・
健康のために、自転車で通勤しよう！

会社方針:一人ひとりの健康体質強化に向けた運動諸施策を推進
 ・運動の機会を増やし健康増進を図る(例)一日一万歩あるく
 ・健保のヘルスマチャレンジを通じて健康状態の向上を図る



クルマ通勤はとても便利・・・
 でも、それが**心臓病(※)などの生活習慣病のリスク**を上げている！
 (※)心筋梗塞、狭心症、不整脈など

そこで・・・

自転車通勤のすすめ

自転車通勤は健康増進効果があります

- ・心臓病の発症リスク **46%低下**(※)
 - ・有酸素運動で**ダイエット効果あり**
 - ・気分転換、**ストレス解消にもなる**
- (※)英国の26万人を対象とした研究調査で、効果が認められています

会社も自転車通勤費補助制度でサポートします

2018年1月より、従来の自転車通勤手当(1km以上一律300円/月)を、**自転車・徒歩通勤手当(1kmにつき1,000円/月)に変更し、手当を増額しています。**

例えば、通勤距離5kmの場合・・・
 ⇒1年間で、6万円の補助を受けることができます。

**運動しやすくなる、これからの季節に、
 自転車通勤を始めてみませんか？**

- ・ **自転車レンタルの実施**
- ・ **8名が新たに自転車通勤に変更**

エコ交通割引プラン (計画案)

パレスイン豊田をご利用のお客様へ

Rakuten Travel
 及び
 YAHOO! JAPAN
 からご利用の場合

エコ交通割引プランご利用で

10% ポイント還元

エコ交通で、街にも人にもおサイフにもやさしく!

ECO パレスイン豊田は、公共交通機関などの環境にやさしい交通の利用を促進して二酸化炭素排出量削減を目指す「豊田エコ交通をすすめる会」に加入しております。

エコ交通割引プラン

公共交通をご利用いただいておりますお客様に、二酸化炭素排出量削減にご協力いただきました御礼に、**Rakuten Travel** 及び **YAHOO! JAPAN** からのご予約の場合、**10%をポイント還元致します**

ご利用条件 「エコ」プランでのご予約は、駐車券もご利用になりません。お振替が対象となります。
 ※お振替以外の決済方法(クレジットカード決済)では、ポイント還元はございません。予めご了承ください。



名鉄上り新駅徒歩5分、豊知岡駅・新上り新駅の当ホテル。
 自動車を置いて、エコ交通で出勤！
 または、市街地へ混雑知らずにお出掛けなんでしょうか？！

豊田のアクセスマップをご覧ください

これからの視点について

注目している最近の動向

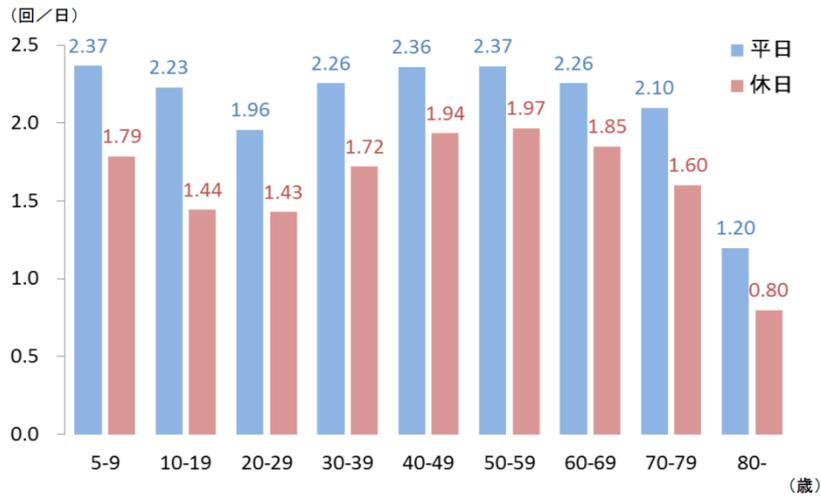
① 属性別の特徴

高齢者…活動的高齢者の増加、ネット利用高齢者の増加、運転免許自主返納の増加、高齢ドライバーと交通事故 等

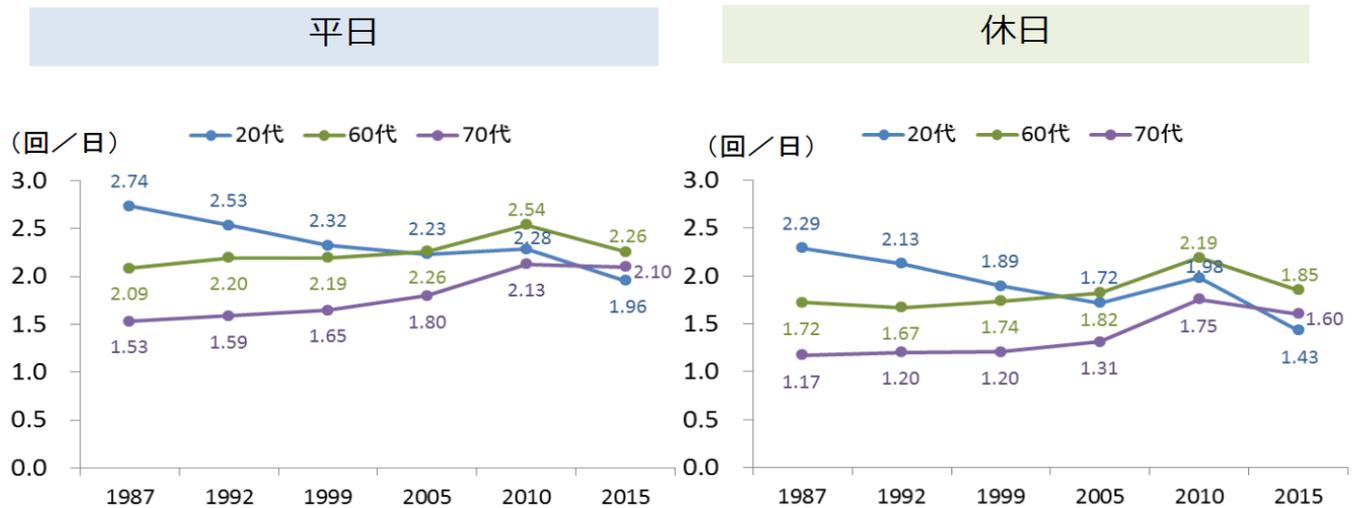
若者…活動量の減少、ソーシャルネットワーキングの利用増、「くるま離れ」 等

若者、高齢者の動き

年齢階層別・1日あたり移動回数



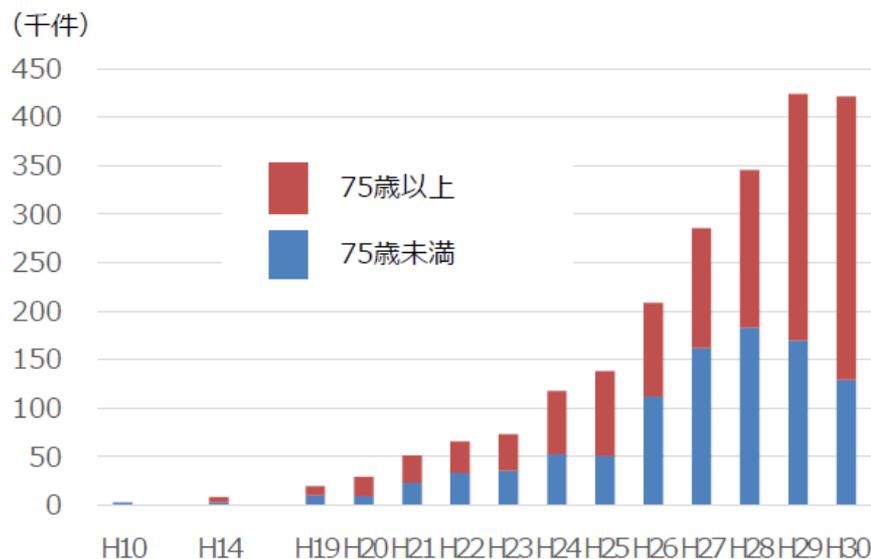
1日あたり移動回数の推移 70代・60代と20代の比較



地域交通を取り巻く環境～高齢者の不安

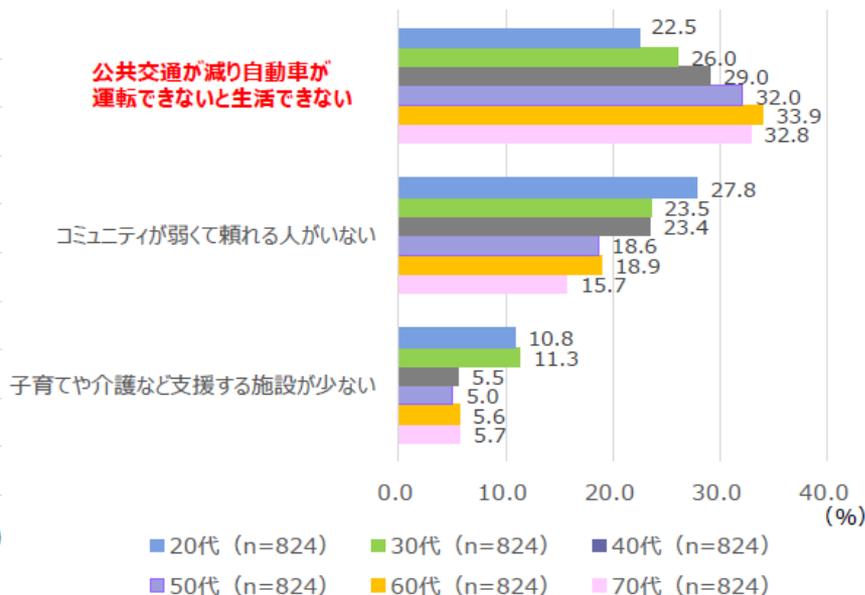
- 高齢者の免許返納の数は、近年大幅に増加。
- 高齢者を中心に、公共交通がなくなると生活できなくなるのではないか、という声大きい。

免許返納は年々増加
(申請による運転免許の取消件数の推移)



(出典) 警察庁公開資料より、国土交通省総合政策局作成

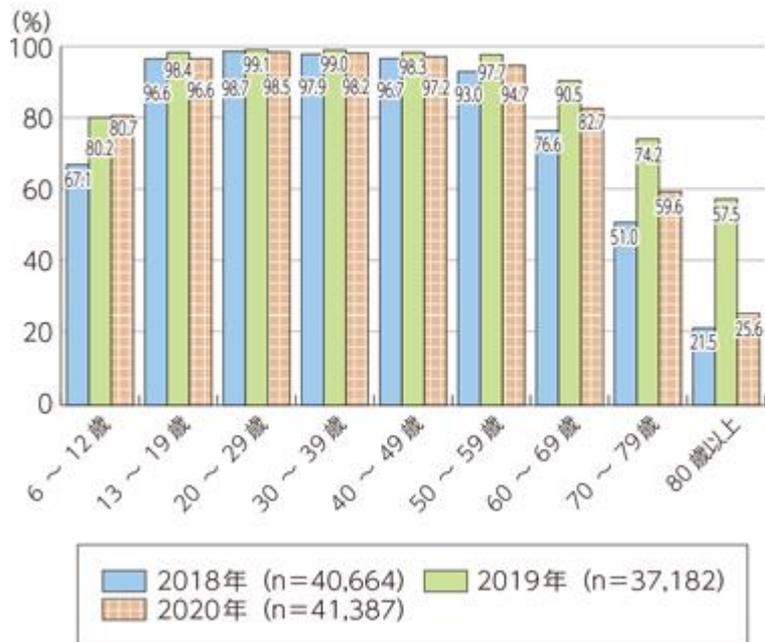
現居住地に対する将来の不安は、公共交通の減



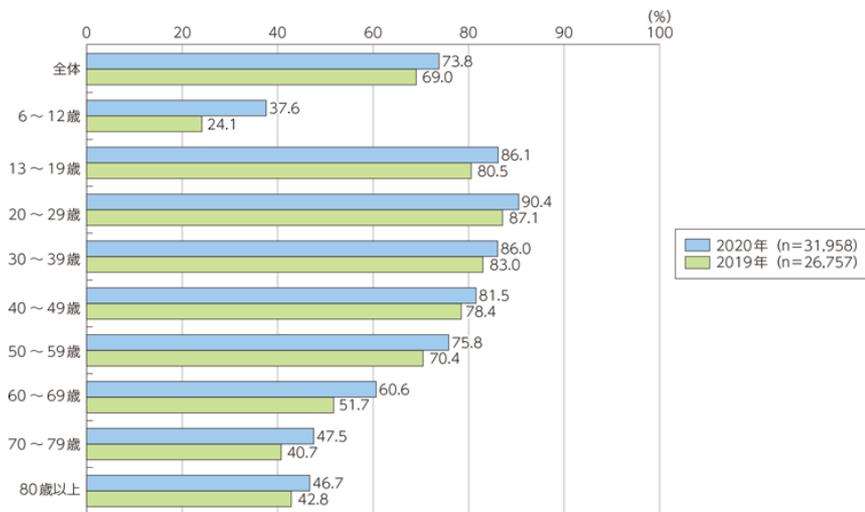
(出典) 国土交通省総合政策局作成

属性別インターネット利用率

年齢階層別



年齢階層別ソーシャルネットワーキングサービスの利用状況



②SDGs（持続可能な開発目標）に関する意識の向上と拡がり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



③ 「ゼロカーボンシティ宣言」自治体の増加

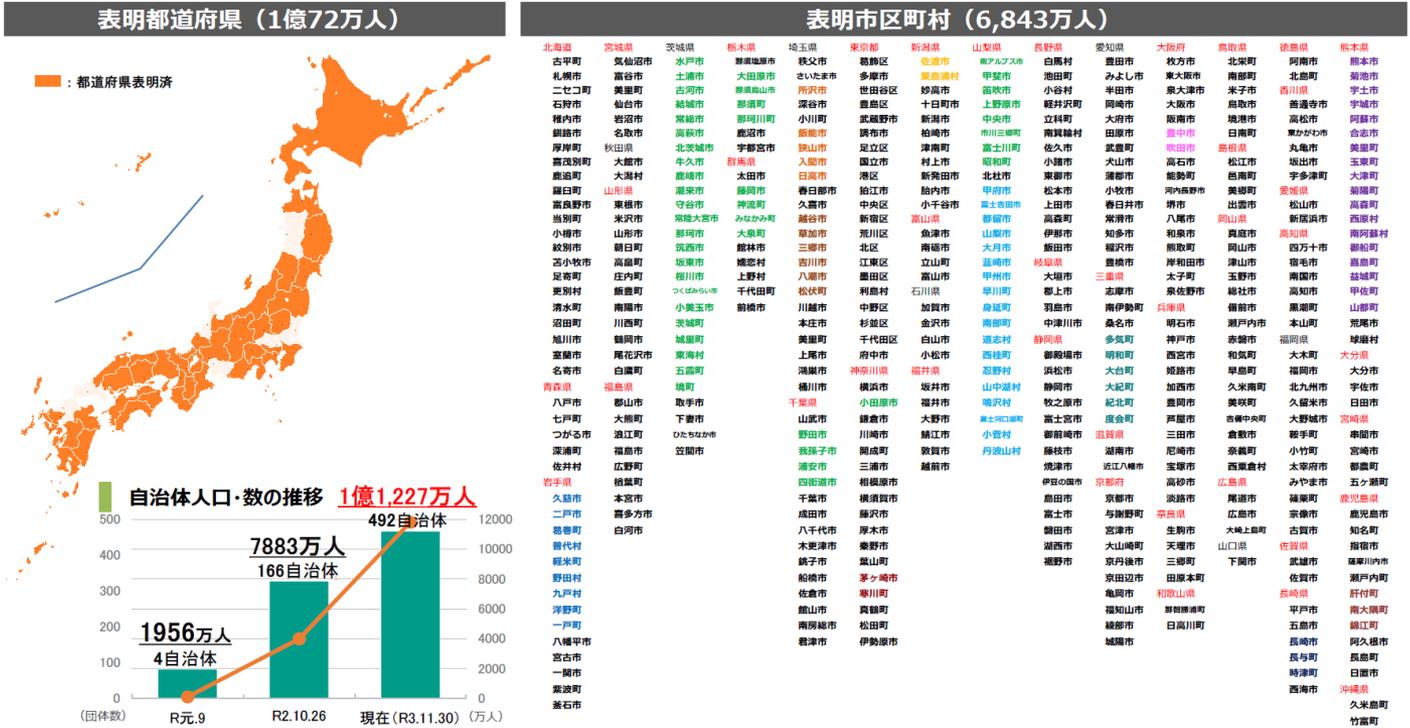
愛知県では「あいちゼロカーボン推進協議会」の設立 (2021/4)

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体 2021年11月30日時点

環境省

■ 東京都・京都市・横浜市を始めとする492自治体（40都道府県、295市、14特別区、119町、24村）が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。**表明自治体総人口約1億1,227万人**※。

※表明自治体総人口（各地方公共団体の人口合計）では、都道府県と市区町村の重複を除外して計算しています。

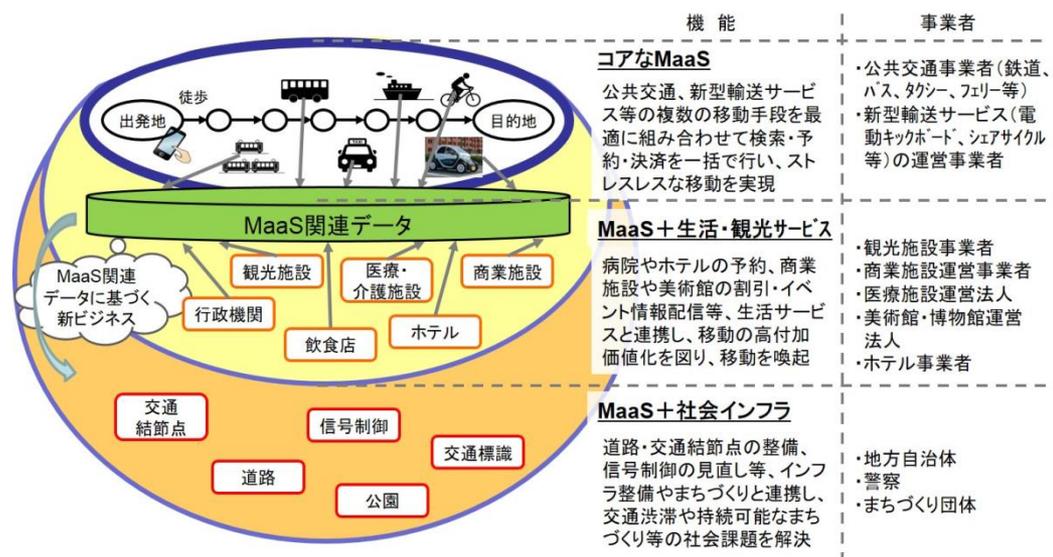
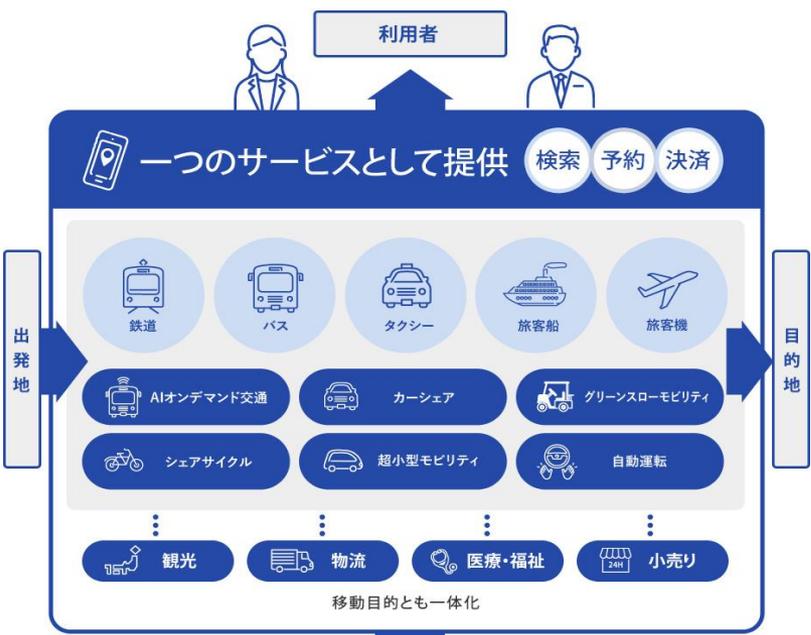


④日本版MaaSの社会実装へ向けての取組

日本版MaaSの基盤形成、日本版MaaS推進・支援事業等が各地で行われている。

MaaS(マース : Mobility as a Service)とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

(出典:国土交通省「日本版MaaSの推進」より)



全国各地でのMaaSの普及⇒日本版MaaSの実現

地域課題の解決
(地域や観光地の移動手段の確保・充実、公共交通機関の維持・活性化 等)

(出典:国土交通省「日本版MaaSの推進」)

愛知県ITS推進協議会では研究会として「MaaS推進会議」を設置

【目的】

交通事故の減少、交通渋滞の緩和、環境負荷の低減や高齢者等の移動手段の確保などの諸課題の解決や、ジブリパーク開業、アジア競技大会開催、リニア開業を見据えた移動の利便性向上を目指して、産・学・行政の連携により、MaaSの普及を推進する。

愛知県「MaaSの社会実装に向けた実証実験」パンフレット

my route
by KINTO

おでかけをもっと便利に、
楽しくマイルートで。in 愛知

名古屋東部丘陵地域を中心にMaaSの実証実験を、
2021年12月1日から
2022年1月31日まで実施！
クルマと公共交通を使い分けて
もっと便利に、楽しくお出かけ！

POINT 01 色々な移動手段を組み合わせたルート検索

POINT 02 アプリで完結チケット予約・購入

POINT 03 「行ってみたい」がたぐさにお出かけスポット検索

POINT 04 「パーク&ライド」「リニモ駅の混雑状況」などの情報配信

12月4日の名古屋グランパス戦(豊田スタジアム)でmy routeを活用したパーク&ライドを実施します！

モリコロパーク(長久手市) 愛知牧場(日進市) 豊田スタジアム(豊田市) 岡崎城(岡崎市) 瀬戸蔵ミュージアム(瀬戸市) あい鷹パーク春日井(春日井市) 中部電力MIRAI TOWER & オアシス21(名古屋市中区)

my route
by KINTO

できること!
実証実験期間限定
2021/12/1(水)~2022/1/31(月)

いまの混雑状況がわかる!
「リニモの駅」や「東海三県的一般道」の混雑状況がリアルタイムで確認できます!
Linimo

リニモの「藤が丘駅」「愛・地球博記念公園駅」「八草駅」が一目でわかる!

パーク&ライドも検索できる!
豊田スタジアムでのイベント開催時には、パーク&ライドの経路をご提案! 渋滞回避や環境に優しい移動につながります!
パーク&ライド 最寄り駅・停留所まではクルマ、その場所から公共交通機関を利用すること
12/4グランパス戦での実施決定! 利用者限定のプレゼントも!

GRAMPUS

デジタル乗車券が購入できる!
愛知環状鉄道の「土日に乗ろう 愛環1dayパス」がアプリ内でも購入可能に!
デジタル乗車券購入で対象施設の割引!

色々な移動手段を組み合わせたルートがわかる!
電車だけでなく、コミュニティバスを含む路線バスやタクシー、カーシェア、シェアサイクルを組み合わせた最適な経路をご提案! 思いがけない経路がわかるかも?!

C+pod* (平日を除く)が配備されたカーシェアも対象! カリテコバイクも対象!

さらに my route ならではの機能 長久手市・豊田市などの店の
お得な情報・クーポンなどを配信予定!

観光スポット情報も掲載!

特設サイトは11/15公開予定!

詳しい内容は
ダウンロードは

STOP! 感染症予防

ダウンロードはこちら

マイルート 愛知

実証事業主体 愛知県

受託事業者 TOYOTA FINANCIAL SERVICES

*実証実験では、新しい生活様式に対応した短距離公共交通の活用や、一歩車移動、地産地消の促進を目的としたMaaSの社会実装実験として、2021年10月1日より導入予定です。

⑤ 自動車の動向のキーワード

CASE (**C**onnecte**d**:コネクテッド、

Autonomous:自動運転、

Shared&**S**ervice:シェアリング/サービス

Electric:電動化)

で表される仕組みや技術

⑥公共交通：改正地域公共交通活性化再生法 (令和2年11月27日施行)

持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための
地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律

国土交通省
〈予算関連法律〉

地域が自らデザインする地域の交通【地域公共交通活性化再生法・道路運送法】

- 地方公共団体による「**地域公共交通計画**」(マスタープラン)の作成
 - ・地方公共団体による**地域公共交通計画(マスタープラン)**の作成を**努力義務化**
 - ⇒国が予算・ノウハウ面の支援を行うことで、地域における取組を更に促進(作成経費を補助 ※予算関連)
 - ・従来の公共交通サービスに加え、**地域の多様な輸送資源(自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等)**も計画に位置付け
 - ⇒バス・タクシー等の公共交通機関をフル活用した上で、地域の移動ニーズにきめ細やかに対応(情報基盤の整備・活用やキャッシュレス化の推進にも配慮)
 - ・定量的な目標(利用者数、収支等)の設定、毎年度の評価等
 - ⇒データに基づくPDCAを強化
- 地域における協議の促進
 - ・**乗合バスの新規参入等の申請**があった場合、国が地方公共団体に**通知**
 - ・通知を受けた**地方公共団体は**、新規参入等で想定される地域公共交通利便増進実施計画への影響等も踏まえ、**地域の協議会で議論し、国に意見を提出**

地域公共交通網形成計画(H26改正)
(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)
まちづくりと連携した
地域公共交通ネットワークの形成の促進

地域公共交通計画(今回改正後)
(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)

まちづくりと連携した
地域公共交通
ネットワークの形成 + 地域における
輸送資源の総動員

メニューの充実やPDCAの強化により、
持続可能な旅客運送サービスの提供の確保



地域の移動ニーズにきめ細かく対応できるメニューの充実【地域公共交通活性化再生法・道路運送法】

輸送資源の総動員による移動手段の確保

地域に最適な旅客運送サービスの継続

- 路線バス等の維持が困難と見込まれる段階で、**地方公共団体が、関係者と協議してサービス継続のための実施方針を策定し**、公募により新たなサービス提供事業者等を選定する「**地域旅客運送サービス継続事業**」を創設
- ⇒従前の路線バス等に代わり、地域の実情に応じて右の①～⑥のいずれかによる**旅客運送サービスの継続を実現**

実施方針に定めるメニュー例

- ① 乗合バス事業者など他の交通事業者による継続(縮小・変更含む)
- ② コミュニティバスによる継続
- ③ デマンド交通(タクシー車両による乗合運送(区域運行))による継続
- ④ タクシー(乗用事業)による継続
- ⑤ 自家用有償旅客運送による継続
- ⑥ 福祉輸送、スクールバス、病院、商業施設等への送迎サービス等の積極的活用

自家用有償旅客運送の実施の円滑化

- 過疎地等で市町村等が行う**自家用有償旅客運送**について、**バス・タクシー事業者**が運行管理、車両整備管理で協力する制度を創設
- ⇒**運送の安全性を向上**させつつ、**実施を円滑化**
- 地域住民のみならず**観光客を含む来訪者も対象**として明確化
- ⇒インバウンドを含む**観光ニーズへも対応**

交通事業者協力型自家用有償旅客運送



貨客混載に係る 手続の円滑化

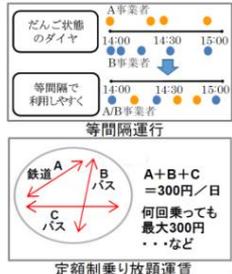
- 鉄道や乗合バス等における**貨客混載**を行う「**貨客運送効率化事業**」を創設
- ⇒**旅客・貨物運送サービスの生産性向上を促進**



既存の公共交通サービスの改善の徹底

利用者目線による路線の改善、運賃の設定

- [現状]地方都市のバス路線では、不便な路線・ダイヤや画一的な運賃が見直されにくく、利便性向上や運行の効率化に支障
- また、**独占禁止法のカルテル規制**に抵触するおそれから、**ダイヤ、運賃等の調整**は困難
- [改正案]**「地域公共交通利便増進事業」**を創設
- ⇒路線の効率化のほか、「**等間隔運行**」や「**定額制乗り放題運賃**」「**乗継ぎ割引運賃(通し運賃)**」等のサービス改善を促進
- 併せて、**独占禁止法特例法**により、乗合バス事業者間等の共同経営について、**カルテル規制を適用除外する特例を創設**



MaaSの円滑な普及促進に向けた措置

- MaaSに参加する交通事業者等が策定する**新モビリティサービス事業計画の認定制度を創設**
- ⇒交通事業者の**運賃設定に係る手続をワンストップ化**
- MaaSのための**協議会制度を創設**
- ⇒参加する**幅広い関係者の協議・連携を促進**



交通インフラに対する支援の充実

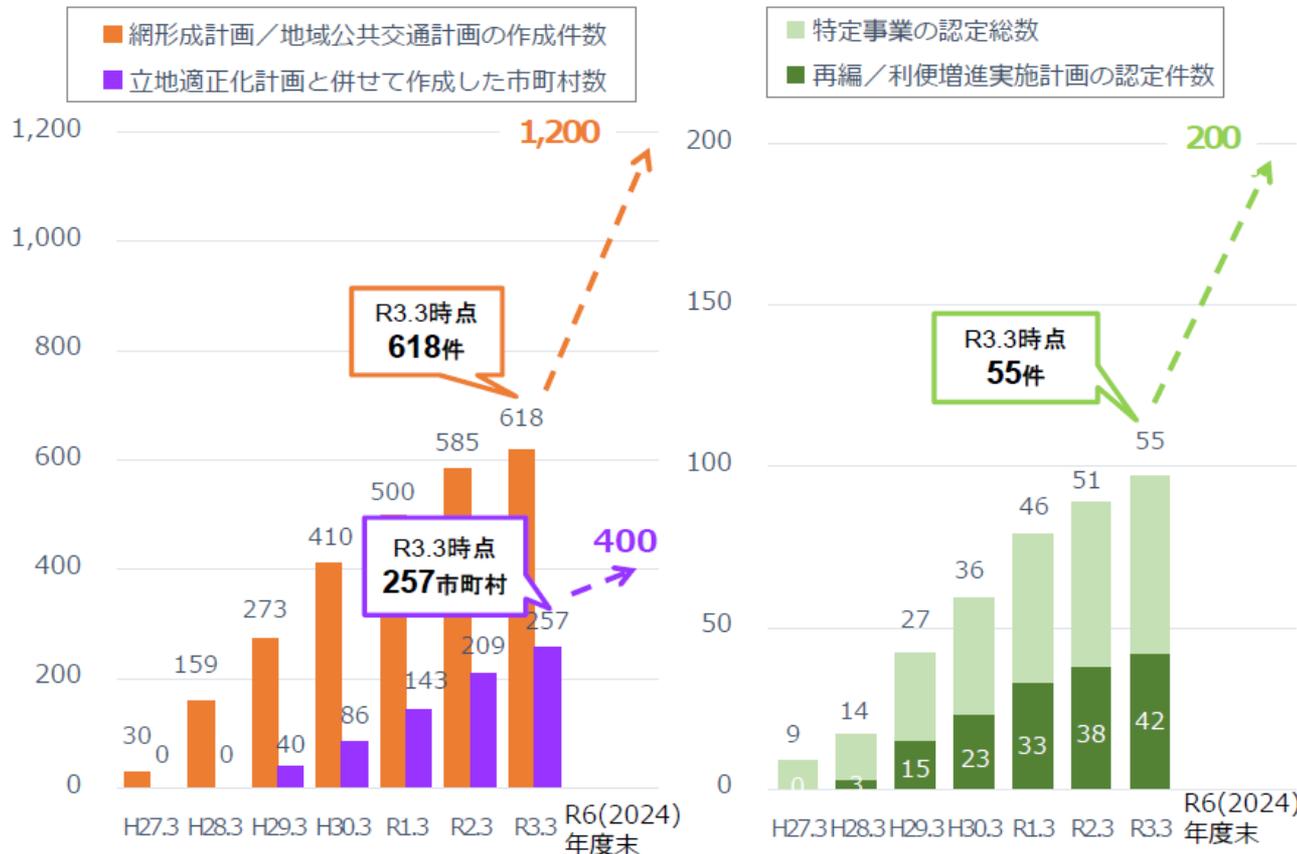
【地域公共交通活性化再生法・物流総合効率化法】

- 鉄道建設・運輸施設整備支援機構による**資金の貸付制度**の対象として、LRT・BRT等のほか、以下の交通インフラの整備を追加(※予算関連)
- ・**地域公共交通活性化再生法に基づく認定を受けた鉄道の整備**
- ⇒交通ネットワークを充実
- ・**物流総合効率化法に基づく認定を受けた物流拠点(トラックターミナル等)の整備**
- ⇒複数の事業者の連携による物流効率化を促進



新たな計画制度における政策目標値の設定

- これまでの法定計画の策定状況を踏まえ、以下の新たな政策目標値を設定。
 - ・地域公共交通計画の策定件数
 - ・地域公共交通計画を立地適正化計画と併せて策定した市町村数
 - ・地域公共交通特定事業の実施計画の認定総数
- 国が予算や人材育成・ノウハウ面の支援を行うことで、マスタープラン作成等の取組を更に多くの地域に拡げること（「量」の拡大）とあわせて、まちづくりとの連携（両計画の作成部署の緊密な連携等）を含む「質」の向上も促進。



新たな政策目標値

（いずれもR6（2024）年度末時点）

地域公共交通計画の
策定件数

1,200件

⇒持続可能な旅客運送サービスの提供の
確保に向けた地域の取組を促進

地域公共交通計画を
立地適正化計画と併せて
策定した市町村数

400市町村

⇒まちづくりとの連携を強化

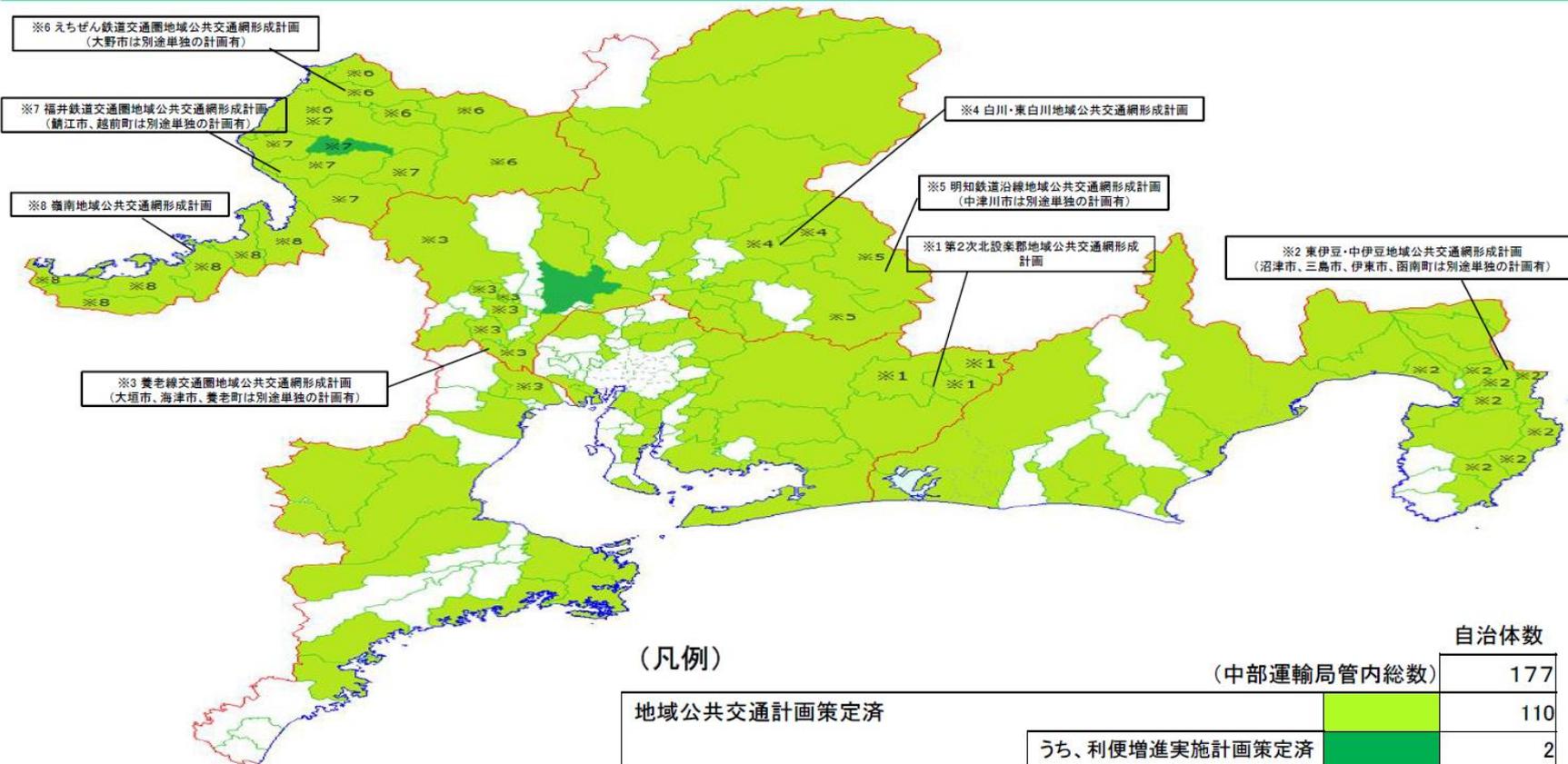
地域公共交通特定事業の
実施計画の認定総数

200件

⇒地域の実情に応じた旅客運送サービスの
提供の確保のための仕組みの活用を促進

中部運輸局管内の地域公共交通計画策定状況について

- 改正地域公共交通活性化再生法の施行（令和2年11月27日）後、地方公共団体において地域公共交通計画（旧 地域公共交通網形成計画）の作成が努力義務化。
- 地域公共交通確保維持改善事業（幹線・フィーダー）の受給にあたっては、令和7事業年度以降、地域公共交通計画との連動が必要。



(令和3年9月末現在)

地域の特性やニーズに対応した公共交通サービスの提供

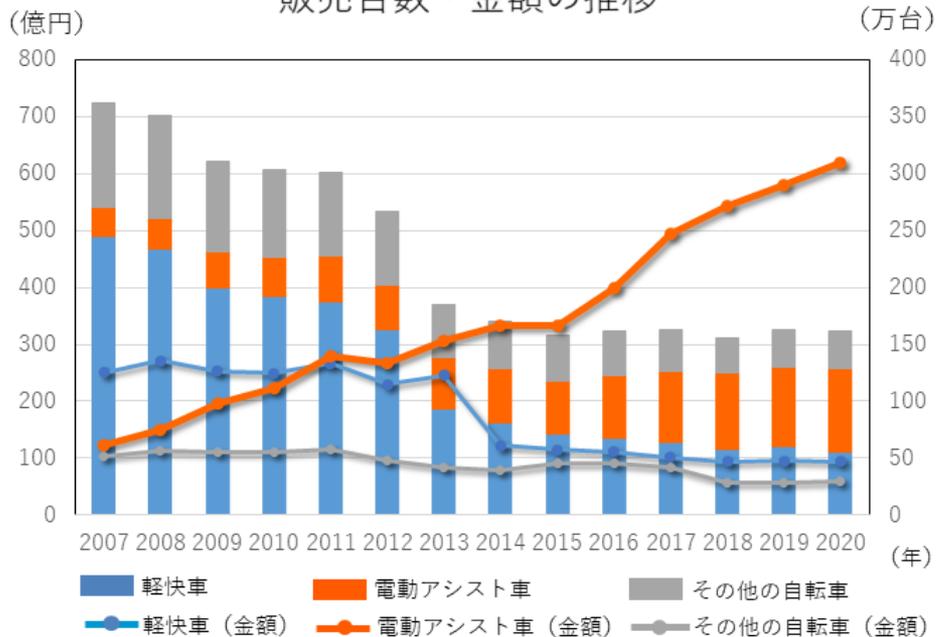
【愛知県内事例】

- ・ 瀬戸菱野団地の住民主体のバス
- ・ デマンド型乗合送迎サービス「チョイソコ」の運行（豊明市、岡崎市、南知多町）
- ・ 豊田市の産官学共働の「たすけあいつプロジェクト」等

タクシーの配車サービスの拡がり、相乗り利用の認可

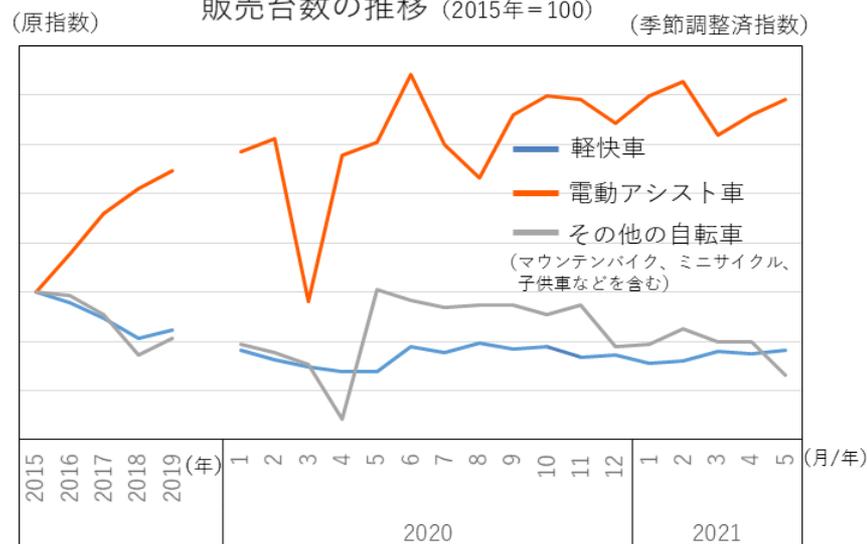
① 電動アシスト自転車の利用増加、自転車活用推進計画の策定

販売台数・金額の推移



(資料) 生産動態統計調査 (経済産業省)

販売台数の推移 (2015年=100)



(資料) 生産動態統計調査 (経済産業省)

販売台数を指数化し、月次指数は季節調整を実施

(出典: 経済産業省資料)

⑧新たな交通具

・電動キックボードの利用の増加

交通安全情報 令和3年10月 警視庁交通部

電動キックボードはナンバープレートをつけて車道を走りましょう!!

★**ライトやミラーをつけましょう!!**
 道路運送車両の保安基準に適合する必要があります。
 ブレーキ、ライト、ミラー、警音器、反射器等を整備しましょう。
 車両区分によって必要な装備が異なります。

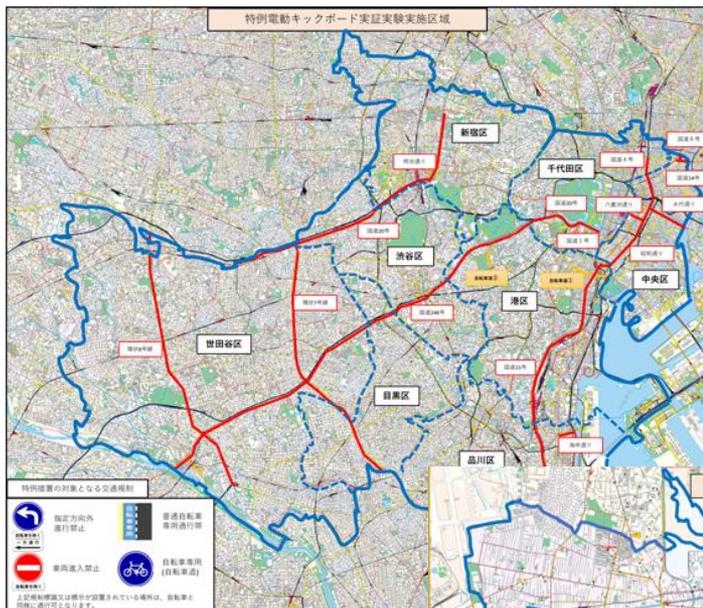
★**保険に入りましょう!!**
 自賠責保険(共済)の契約をしなければなりません。

★**道路交通法を守りましょう!!**

- ◎歩道通行禁止!!歩行者優先です。
- ◎右側通行はできません。左側通行しましょう。
- ◎信号を守りましょう。
- ◎車両区分に沿った運転免許証が必要です。

交通事故を防ぐ、簡単だけど、効果のある方法が満載!

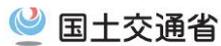
警視庁 公認サイト **TOKYO SAFETY ACTION**
<https://www.safetyaction.tokyo/>



(出典:警視庁ホームページ)

・ グリーンスローモビリティの活用

グリーンスローモビリティとは



グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス

【グリスロの特長】

- ① **Green**・・・電動車を活用した環境に優しいエコな移動サービス
- ② **Slow**・・・景色を楽しむ、生活道路に向く、重大事故発生を抑制
- ③ **その他**・・・同じ定員の車両と比べて小型、開放感がある、乗降しやすい等

軽自動車	小型自動車	普通自動車
 4人乗り	 5人乗り	 10人乗り
 4人乗り	 6人乗り	 11人乗り
 4人乗り	 7人乗り	 18人乗り

※11人乗り以上の車両の運転には、中型自動車免許が必要になります。

グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業 国土交通省 (国交省単独)

- 環境への負荷が少なく、狭い路地も通行が可能で、高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に資する「新たなモビリティ」として期待されているグリーンスローモビリティの地域での活用に向け、地方公共団体を対象に実証調査を実施

グリーンスローモビリティ

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス

- 従来の公共交通ネットワークを補完する「低速の小さな移動サービス」
- 運転手と乗客や乗客同士、乗客と歩行者などのコミュニケーションが弾む機能を持つ「乗って楽しい移動サービス」
- 地域が抱える交通等の課題解決と脱炭素社会の確立を同時に実現



事業内容

- グリーンスローモビリティの活用に向けた実証調査の実施を希望する地方公共団体からの企画を募集
- 採択された地域に対して、2～4週間、車両を無償貸与するとともに、国土交通省が委託する外部専門機関による助言支援を実施

審査のポイント

- 地方公共団体が主体となり実証調査を行う意向があること
- 予め警察署・地方運輸局・道路管理者との事前調整を行っていること
- 実証調査終了後、事業化に向けた取り組み意向があること

事業スキーム



(出典：国土交通省資料)

今後の方向

- **ゼロカーボン社会の実現に向けて、より環境にやさしい交通行動が要請される。**
- **日本版MaaSの社会実装が実現すると、移動の利便性は一層向上し、地域における様々な課題の解決への具体的な対応が可能となる。**
- **公共交通がより使いやすくなると、高齢者や若者の活動を支える役割が増大する。**
- **CASEと言われる仕組みや技術が進展することにより、より安全で環境にもやさしい自動車のかしこい利用が広がる。**
- **新たな交通具では、走行空間や使用のルールの整理が必要であるが、移動手段としてだけでなく、別の価値（面白さや楽しさ、環境にやさしい等）も持った乗り物として利活用できる。**



地球環境にやさしい活動を、地域や事業所・企業が主体となって取組み、それを行政や専門家がサポートするような仕組みを創る。

そこでエコモビ活動への提案

これまでの考察から見てもエコモビ活動は大いに評価できる取組であり、一層の継続的展開を図ることがとても重要。

- ①「エコモビ実践キャンペーン」への参加促進と
会員相互で情報交換できる場づくり
⇒同じような取組の改善につながる
⇒同じような職種での新たな実践の参考になる
- ②実施した取組について、参加者が皆で共有できる
効果の算出や可視化など自己評価につながる仕組みづくり
⇒参加者へのメッセージとなるし、意識向上につながる
⇒組織としての取組の改善・継続につながる

【参考】「エコモビ実践キャンペーン2020」の取組 項目と参加企業・団体等数

- ・「エコモビ」情報の周知、実践の働きかけ 180企業・団体等
- ・エコ通勤の推進
 - ①マイカー通勤の禁止（制限） 54企業・団体等
 - ②従業員用駐車場の削減 14企業・団体等
 - ③駐輪場の設置（場所の確保） 77企業・団体等
 - ④自転車通勤者への通勤手当支給 35企業・団体等
 - ⑤コミュニケーション・アンケートの実施 17企業・団体等
 - ⑥相乗り通勤制度 11企業・団体等
 - ⑦時差出勤制度 61企業・団体等
 - ⑧エコ通勤者に対する表彰制度 3企業・団体等
 - ⑨通勤バスの運行 1企業・団体

・環境に配慮した自動車利用等の推進

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| ①エコドライブの推進（自動車通勤・業務使用時のエコドライブの励行） | 97企業・団体等 |
| ②カーシェアリングの活用 | 11企業・団体等 |
| ③シェアサイクルの活用 | 13企業・団体等 |
| ④EV・PHV・HV等の導入 | 51企業・団体等 |

合計 625企業・団体等（延べ）

キャンペーン実施事例の内「新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から特に影響を受けた取組み」

- ・ **自転車通勤の奨励**
- ・ **新型コロナウイルス感染症対策として、フレックス制度を活用した時差出勤を奨励、実施**
- ・ **相乗り通勤にあたっては、新型コロナウイルス感染症予防のため後部座席との間にビニールシートを吊り、喚起を実施**
- ・ **コロナ禍で電車通勤等の公共交通機関を利用しての通勤は難しかったが、アイドリングストップ、急発進の禁止など、エコドライブの励行を呼びかけ、実践**

「コロナ禍における公共交通の安心利用」について

「エコモビ実践キャンペーン2021」のパンフレットでは、以下の様な「事務局からのお願い」を掲載

感染防止対策を講じた上で実施していただきますようお願いいたします。

公共交通機関を安心してご利用いただくため、

- (1) マスクを着用し、会話は控えめにしてください
- (2) 車内換気へのご理解・ご協力をいただく
- (3) テレワーク・時差出勤に努めていただく

といったコロナ時代の新たな利用スタイルの実践にご協力をお願いいたします。(国土交通省HPより)

参加企業・団体募集

エコモビ 実践キャンペーン 2021

電車・バスで安全、スムーズに
自転車・徒歩で健康、爽快に
クルマは相乗りで、エコドライブで

実施期間
2021年11月18日(木)▶12月17日(金)

募集期間 | 2021年9月16日(木)～12月1日(水)

見直してみませんか? クルマの使い方

※実施期間は、クルマが公共交通、自転車、徒歩などをよく使い分けるライフスタイルである「エコモビライフ」(エコモビ)を推進活動として実施しています。クルマは専ら移動の手段ですが、通勤時間帯などでは、自動車交通が集中し、渋滞や交通事故の発生ももたらしています。渋滞や健康被害の観点から、このキャンペーンをきっかけとして、クルマの使い方を見直しを促してまいります。

エコモビの実践により、つぎの効果が期待できます!

- CO₂の削減**
たとえば、従業員100人がクルマで通勤の通勤距離が10kmを削減すれば、CO₂削減が達成できます。
- 交通事故リスクの軽減**
エコ通勤への転換によって、通勤時の交通事故の発生リスクを削減します。
- 従業員の健康増進**
公共交通での通勤はクルマ通勤の通勤距離の約1/5削減に相当します。
- 洗浄緩和**
平均2年一度の自動車洗車は、洗車場の排水処理を必要とするため、従業員1人1人に自身の通勤距離が10km削減された場合、年間洗車回数が5回削減され、洗車場の排水が削減されます。

カーボンニュートラルの実現、地域社会への貢献、事業者のコスト削減にもつながります

愛知県・あいちエコモビライフ推進協議会

エコモビ 取組内容

※必須項目はキャンペーンに参加するすべての事業者が取り組む項目
※任意項目は各参加事業者の実情に応じて取り組む項目です。

1 「エコモビ」情報の周知・実践の備きかけ

必須項目

- ポスターの職場内掲示、チラシの配布
- 社内インターネットへの掲載、メールの配布
- 朝礼、社内会議、研修会での周知
- 事務所前看板、バス停の時刻表の職場内掲示、マイカー通勤者への配布

※実施期間は、11月18日～12月17日の間で実施する必要があります。

2 県内一斉「エコ通勤デー」(2021年12月1日)への参加

選択項目

- 実業の日を社礼、社内祝賀、メールなどで参加呼びかけ
- 実施日に会社の行事予定を優先
- 社外イベントへの参加
- 社外イベントへの参加

3 エコ通勤の推進

選択項目

- マイカー通勤の抑制
- 自転車通勤の奨励
- 公共交通機関の利用
- 徒歩通勤の奨励
- 自転車通勤の奨励
- 公共交通機関の利用
- 徒歩通勤の奨励

従業員からの取組

※実施期間は、11月18日～12月17日の間で実施する必要があります。

エコモビ実践キャンペーン2021参加登録書 (2021年 月 日)

当社(団体)は、キャンペーンの趣旨に賛同し、以下のとおり取組をします。

企業・団体名	
所在地	
従業員数	人(うち通勤の全行程がマイカーの方の割合) 割
所属	役職・氏名
連絡先	FAX
先メールアドレス	
企業名・所在地を記載したWebページへの掲載	可 / 否

エコモビ取組内容 (複数回答可)

1. 「エコモビ」情報の周知・実践の備きかけ【必須項目】	参加 / 不参加
2. 県内一斉「エコ通勤デー」(12月1日)への参加【選択項目】	参加 / 不参加
3. エコ通勤の推進	参加 / 不参加
4. 環境に配慮した自動車利用等の推進	参加 / 不参加

※実施期間は、11月18日～12月17日の間で実施する必要があります。

本キャンペーンは、ご参加の企業様からのご参加を歓迎いたします。

お問い合わせ先: 愛知県環境部 環境政策課 環境推進課

電話: 052-954-6125(ダイヤルイン) FAX: 052-961-3248 E-mail: kotsu@pref.aichi.lg.jp

出典: 愛知県交通対策課「エコモビ実践キャンペーン参加募集パンフレット」

4 環境に配慮した自動車利用等の推進

選択項目

- エコドライブの推進
- カーシェアリングの活用
- シェアサイクルの活用
- EV車・FCV車の導入

キャンペーン参加方法

- 登録
- 2周知
- 実践
- 4報告

注目

「あいちエコモビライフ推進協議会」にぜひご加入ください。

「あいちエコモビライフ推進協議会」は、県が事業者と協力を結ぶ際に、事業者の社会的責任を担って評価されます(県民評価項目)。

※実施期間は、11月18日～12月17日の間で実施する必要があります。

国交省中部運輸局や同愛知運輸支局、公益社団法人愛知県バス協会、名古屋タクシー協会、愛知県タクシー協会では、公共交通の感染対策の「みえる化」のピクトグラムや安心して利用するための感染対策のチラシを作成して呼びかけている。

自治体交通担当者
交通事業者の
みなさま

中部運輸局
Chubu District Transport Bureau

感染対策をPRしませんか？

交通専用 感染対策ピクトグラム出来ました

国土交通省中部運輸局では、交通事業者の感染対策の「見える化」を後押しするため、交通専用の感染対策ピクトグラムを作成しました。ピクトグラム単体で利用したり、中部運輸局ホームページからポスター台紙をダウンロードして、オリジナルポスターを手軽に作成することもできます。車内や座席前シートポケットでの掲示、ホームページ上での周知など、ご自由にご活用ください。



新型コロナウイルス感染対策実施中
私たちは、以下の感染対策に取り組んでいます。

乗務員のマスク着用	乗務員の感染対策・健康管理	空調設備による定期的な空気入れ替え	空気清浄機の導入
窓枠による定期的な換気	定期的な清掃・消毒	アクリル板の設置	キャッシュレス決済の導入

△△タクシー株式会社 名古屋300あXXXX

複数種類のピクトグラムから自由に選ぶことができます。

ご利用方法

余白には会社名や車両名も入れられます！

中部運輸局ホームページ専用サイトからダウンロードしてご活用下さい

- ✓ 利用規程の範囲内であれば事前申請等の手続き無く、全国の自治体、交通事業者において自由に利用できます。
- ✓ (おことわり) 交通事業者等が作成したポスターに関する内容は交通事業者等が自ら行う取組であり、国土交通省や中部運輸局がその取組を認証するものではありません。

専用サイト <https://www.twb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/picto2022>

問合せ先 国土交通省中部運輸局 交通政策部交通企画課 TEL : 052-952-8006



出典：中部運輸局資料



公共交通あんしん利用

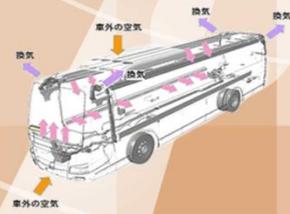
“新たな生活様式”で、皆が安心して利用するために



感染拡大を防止するためにご協力をお願いします

乗車時のマスク着用をお願いします	会話を控えるようお願いします	なるべく間隔を空けてご乗車下さい
------------------	----------------	------------------

ソーシャルディスタンス



公共交通機関は、毎日の通勤・通学、生活の足として、運行を続けています

国土交通省中部運輸局愛知運輸支局
公益社団法人愛知県バス協会
名古屋タクシー協会・愛知県タクシー協会

出典：中部運輸局愛知運輸支局、公益社団法人愛知県バス協会、名古屋タクシー協会、愛知県タクシー協会資料

ご清聴ありがとうございました！